

# むくのきだより 7月号



令和2年6月29日 港区立赤羽幼稚園 園長 宮崎 直人

「ねこまる」くんが赤羽幼稚園にやってきた！！

園長 宮崎 直人

暑さが日ごとに増して、園庭の植物やプランターの草花や、ミニトマト、キュウリ、パプリカ、ナスなどの夏野菜もぐんぐん伸びています。皆、収穫を楽しみにしています。

6月24日(水)は、3月、4月、5月、6月生まれのお誕生会を行いました。ゆり組にとっては、4か月ぶり、さくら組にとっては、初めてのお誕生会でした。いつもは、ゆり組とさくら組が一緒に行うのですが、分散登園のため、組ごとに実施しました。

ゆり組は、自分たちで司会をするのは、初めてです。少し緊張しながらも、しっかりと自分の役割を果たすことができました。さくら組は、初めてのお誕生会に、始めは少し緊張していたようですが、会が進行するにつれて、楽しむ様子が見られました。

お誕生会は、「始めの言葉」「誕生日の人の紹介」「インタビュー」「園長先生のお話」「音楽に合わせて拍手のプレゼント」と進み、「プレゼント」の時間になりました。臨時



休業期間にホームページの動画で登場した『園長先生のお友達』から、ゆり組の3月生まれの子供たちは、バルーンで作った「うさぎ」を、ゆり組・さくら組の4・5・6月生まれの子供たちは、バルーンで作った「ねこ」をもらいました。また、皆で書いたお祝いのカードなどももらいました。誕生日の子供たちは、とても嬉しそうでした。

次は、いよいよ「お楽しみ」です。「園長先生のお友達が皆のお祝いに来てくれているので、皆に紹介しますね。」という設定で、「ねこまる」くんが登場しました！！子供たちは、最初は、びっくりした様子でしたが、「ねこまる」くんのかわいい姿やしぐさに大喜びでした。

「ねこまる」くんは、「赤羽幼稚園を昔から見守ってくれている『妖精』」です。赤羽幼稚園50周年をお祝いするために、空から降りてきてくれました。今は、「むくの木」の上に家があります。(という設定です。)赤羽幼稚園50周年のためのオリジナルキャラクターとして、ゆり組の保護者で、50周年委員会の近江真帆さんがデザインしてくださいました。(右の四コマ漫画も近江さんが作ってくれました。)

ゆり組もさくら組も、お誕生会が終わったら、さっそく「ねこまる」くんの家のある「むくの木」を見に行きました。子供たちは、「ねこまるくん！」と何度も呼び掛けていました。皆、「ねこまる」くんが大好きになったようです♪

「ねこまる」くんは、これから、幼稚園の行事などのときに、皆に会いに来てくれる予定です。

赤羽幼稚園50周年を、皆で盛り上げていきたいと思います。



## ねこまる どうじょう

